

エコアクション21 環境経営レポート

令和6年度

(運用期間:令和6年4月~令和7年3月)



三栄工業株式会社



作成年月日:令和7年7月7日

代表取締役 村田 信幸

目 次

| | |
|--------------------------------|----|
| 1.組織の概要 | |
| 1-1 事業の概要 | 1 |
| 1-2 実施体制 | 2 |
| 2.対象範囲 | |
| 2-1 認証・登録範囲 | 3 |
| 2-2 組織図及び認証・登録範囲 | 3 |
| 3.環境経営方針 | |
| 3-1 基本理念 | 4 |
| 3-2 行動指針 | 4 |
| 4.環境経営目標 | |
| 4-1 今年度の環境経営目標 | 5 |
| 5.環境経営計画 | |
| 5-1 二酸化炭素排出量の削減 | 6 |
| 5-2 廃棄物の排出量削減 | 6 |
| 5-3 廃棄物の排出量削減 | 6 |
| 5-4 水使用量の削減 | 6 |
| 5-5 環境に配慮した設計・製作 | 6 |
| 5-6 環境整備 | 6 |
| 5-6 環境整備 | 6 |
| 6.環境経営目標の実績 | |
| 6-1 環境経営取組結果 | 7 |
| 6-2 二酸化炭素排出量の削減 | 7 |
| 6-3 環境経営目標実績グラフ | 8 |
| 7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 | |
| 7-1 電力水道使用量を削減するための取り組み | 9 |
| 7-2 廃棄物排出量を削減するための取り組み | 10 |
| 7-3 書庫の書類をスキャンをとり古紙へリサイクルの取り組み | 10 |
| 7-4 次年度の環境経営目標及び環境経営計画の内容 | 11 |
| 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに | |
| 8-1 違反、訴訟等の有無 | 12 |
| 8-2 関係当局（外部）からの指摘・指導・訴訟・苦情について | 12 |
| 9.環境整備 | |
| 9-1 会社周辺の清掃活動、環境美化、安全対策 | 13 |
| 10.代表者による全体評価と見直し・指示 | 14 |

1.組織の概要

1-1.事業の概要

事業者名 三栄工業株式会社

代表者名 代表取締役 村田 信幸

創 業 昭和22年3月

設 立 昭和23年6月

所在地 〒804-0077 北九州市戸畑区牧山海岸4番8号

【本社工場】 〒804-0077 北九州市戸畑区牧山海岸4番8号

【八幡工場】 〒805-0057 北九州市八幡東区大字尾倉515番1号

【戸畑事業所】 〒804-0002 北九州市戸畑区中原先の浜46番59号

資本金 3,500万円

環境管理責任者 香月 秀美

担当者氏名 経営企画部 部長 香月 秀美

連絡先 TEL：093-871-5234

FAX：093-871-9041

Email katsuki.h@sanei-kk.com

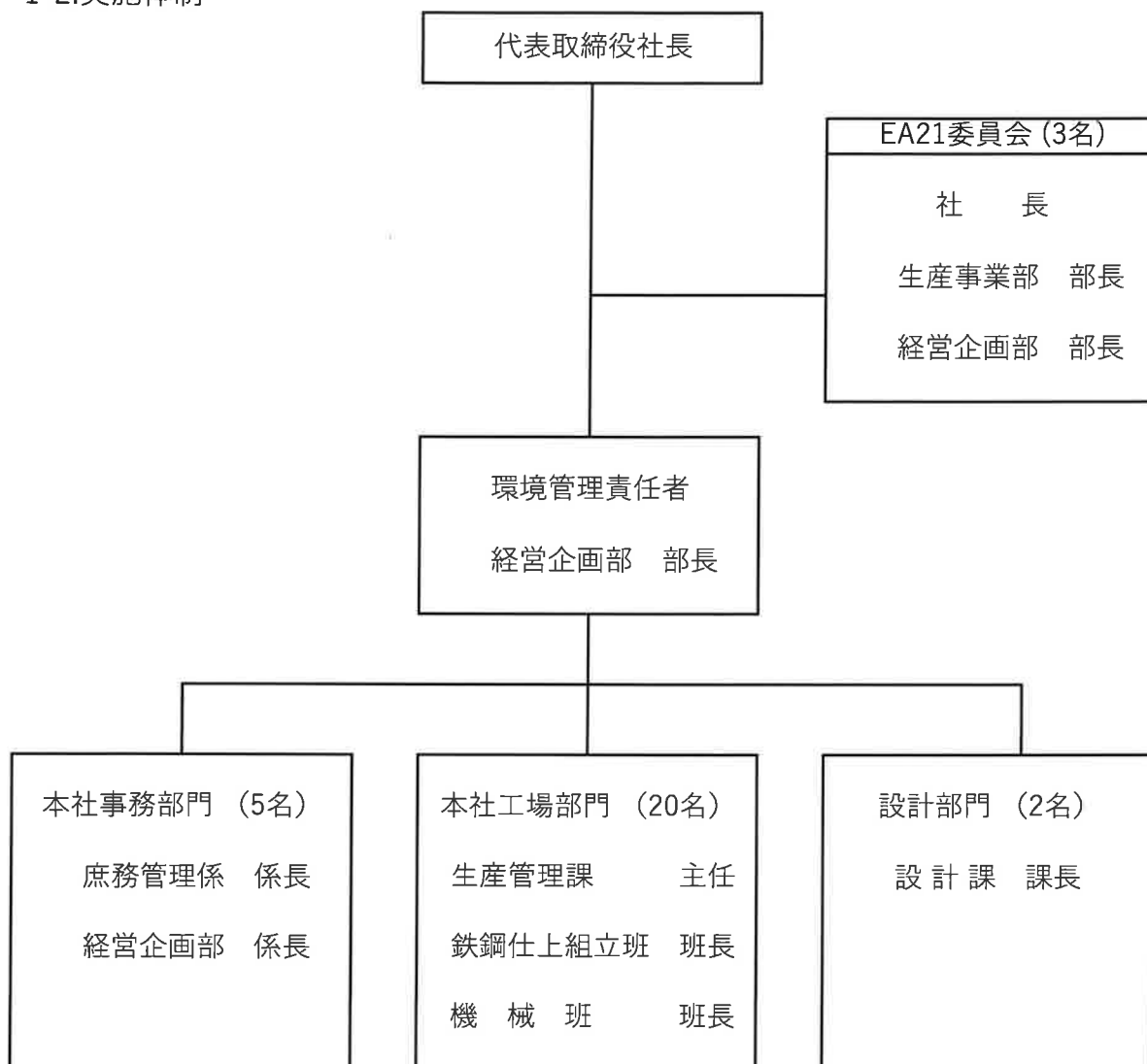
事業の内容 製鉄所向け機械部品の加工・製作並びにプラント品の製作

事業の規模

| 活動規模 | 単 位 | 令和6年 | 令和5年 | 令和4年 |
|---------|----------------|-------|-------|-------|
| 主要製品生産量 | t | 294 | 436 | 426 |
| 売上高 | 百万円 | 722 | 1,064 | 1,041 |
| 従業員 | 人 | 30 | 34 | 35 |
| 床面積 | m ² | 3,284 | 3,284 | 3,284 |

当社の事業年度 4月1日～翌年3月31日

1-2.実施体制



役割分胆表

| 所 属 | 役 割・責 任・権 限 |
|-----------|--|
| 代表取締役 社 長 | 全体統括、環境経営方針の策定、環境経営目標・環境経営計画の承認環境経営への取組を実施するための資源準備 全体の評価と見直し |
| EA21委員会 | 1か月に1回開催し環境目標の達成状況及び環境経営計画の実行状況を審議 |
| 経営企画部 部 長 | 環境経営システムを構築するにあたり、環境経営目標・環境経営計画の策定 環境経営システムの運用、その実績状況を社長に報告 電力・水道消費量の管理。削減指導及び推進 文書及び記録類の作成・維持・エネルギー使用量の集計・管理 |
| 生産事業部 部 長 | 全体の環境経営システムを構築・運用し事務所のエネルギー削減 工場へ削減に向け指導・管理を行い、環境管理責任者に報告 システム運用について管理、指導を行う |
| 設 計 課 課 長 | 工場内全体の把握、設計における効率化の客先へ提案 |
| 生産管理課 主 任 | 工場内エネルギー削減・リサイクル率管理、環境景観管理を各班の責任者に指示して実施管理を行う 工場内廃棄物の排出量管理 |
| 庶務管理係 係 長 | 燃料（ガソリン、軽油）・灯油消費量管理 |

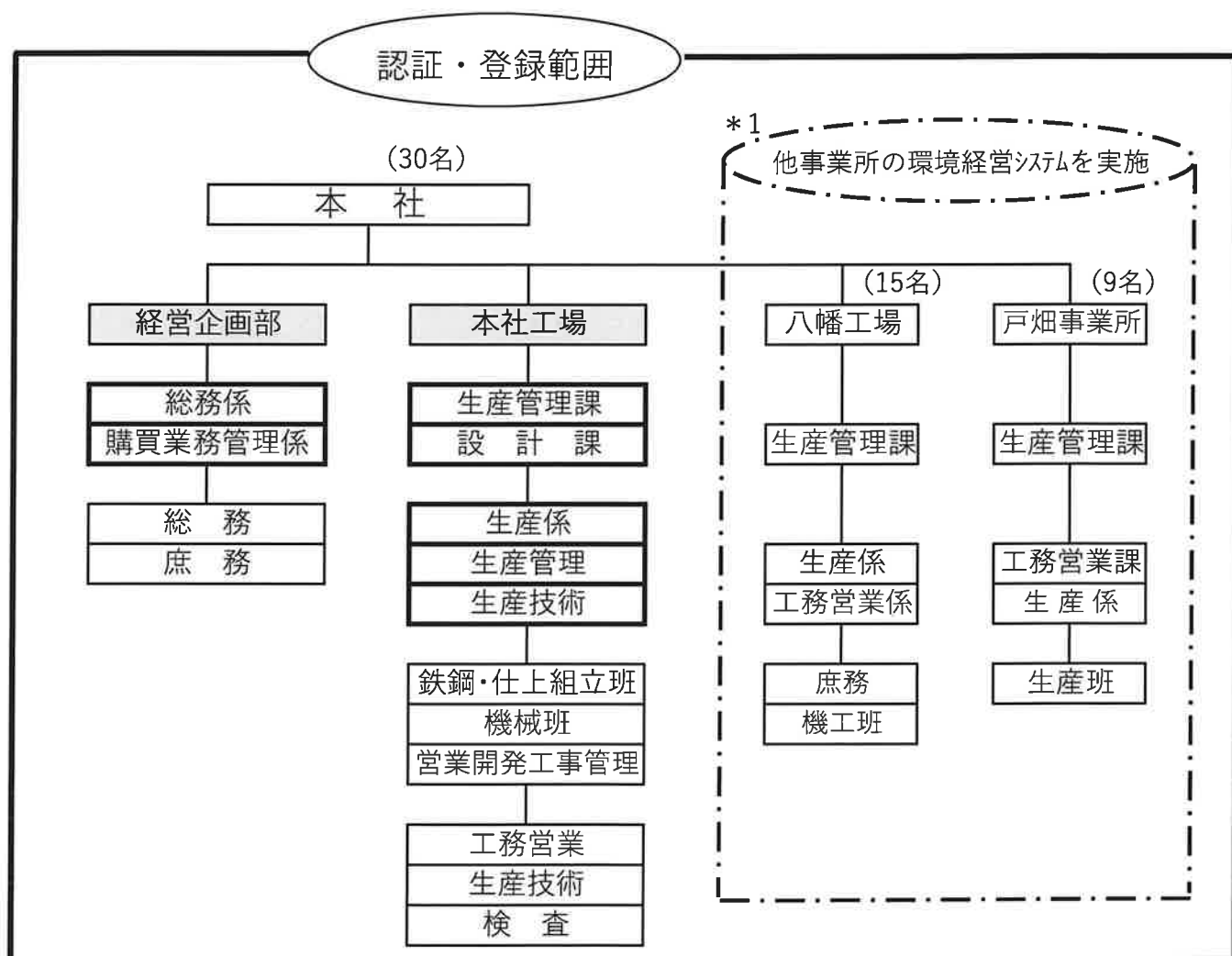
2.対象範囲

2-1.承認・登録範囲

- ① 認証・登録サイト サイト認証
- ② 認証・登録活動 機械部品の加工・製作並びにプラント品の製作

(今回の活動ポ-トの対象期間は、令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

2-2.組織図及び認証・登録範囲(当社の認証・登録範囲は以下の通り)



【他事業所の環境経営システムを実施】

- * 1 ・八幡工場・戸畑事業所は、日本製鉄(株)九州製鉄所八幡地区構内にあり、当該事業所の環境経営システムISO14001に従って活動を行なっている。

環境経営方針

基本理念

三栄工業株式会社は、北九州地区を拠点にものづくり企業として創立から今年で77年となります。製缶・機械加工を本業として活動して参りましたが、これまで培った技術を、生産中心から地球環境を視野に入れた環境への負荷低減に取組み、地域社会へ貢献できる事業展開を行ない環境経営の継続的な改善を誓約します。

行動指針

- ・環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規を遵守し環境負荷の低減を推進致します。
- ・以下の行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営計画を提起し、定期的な見直しを行いながら持続性ある活動を展開して行きます。

二酸化炭素排出量の削減

- ・電気・ガソリンなど使用エネルギーの削減に努め省エネ製品の使用を推進して行きます。
- ・高効率設備の導入や更新により、計画的に効率のよい機械の稼動に努めます。
(工場内生産工程進捗表示などのモニター画面の設置・新しい機械の導入)
- ・省エネ部品の導入による製品や、原材料調達における環境配慮に努めます。
- ・SDGsの活動に参加し、登録申請を推進して行きます。

廃棄物排出量の削減(一般・産業廃棄物)

- ・金属材料の板取り(歩留り率5%以内)を最小限にして、機械加工から発生する端材や切粉等を材質ごとの分別によってスクラップ価値を高め、最終的に産廃物を少なく致します。
- ・製作工程から排出される、副資材(梱包資材、プラスチック類)は再利用できるものは運搬用保護材として流用し、産業廃棄物量の削減に取り組みます。

水使用量の削減

- ・節水に取り組み使用量を削減致します。

環境経営に配慮した設計製作の提案

- ・設計・製作品の消耗、取替簡素化導入に努めます。
- ・環境経営に配慮した設計に努め、環境に配慮した製品の製作を推進致します。

環境整備の推進

- ・本社及び工場廻りの環境美化を推進致します。(ゴミステーションの設置)
- ・本社及び工場の職場環境整備に努めます。(溶接ヒュームが特化則で規制され、ばく露防止措置)
- ・健康管理(健康経営優良法人)・受動喫煙防止のため分煙活動の実施。(喫煙場設置)
- ・事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- ・この環境方針は、社員全員に周知するとともに、地域の協業事業者にも、環境への取組を理解して協賛していただけるよう活動します。
- ・地域や自治体等関連団体と協議しながら、地域環境美化と環境意識の構築に努めます。

この環境経営方針は広く一般に公表します。

平成21年12月2日 制定
令和6年6月6日 改定
三栄工業株式会社
代表取締役社長 村田 信幸

4.環境経営目標

4-1.今年度の環境経営目標

本社工場は、受注状況によって稼働日数、生産量等による変動要因があるため令和3年度実績を基準値とし、令和6度の目標値及び中期環境経営計画を設定（削減設定）する。

* 購入電力排出係数は「0.628 (kg-CO₂/kWh)」を使用

| 環境経営目標 | | 単位 | (基準) | 目 標 | 目 標 | 目 標 |
|--------|--------------------|--------------------|---------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | | 令和3年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
| 1 | 二酸化炭素排出量の削減 | kg-CO ₂ | 117,969 | 113,250 (4%削減) | 112,071 (5%削減) | 110,891 (6%削減) |
| | 1-1 電気使用量の削減 | kWh | 163,248 | 156,718 (4%削減) | 155,086 (5%削減) | 153,453 (6%削減) |
| 1-2 | ガソリン使用量の削減 | km/ℓ | 14.1 | 14.7 (4%向上) | 14.8 (5%向上) | 14.9 (6%向上) |
| | 軽油使用量の削減 | | | 6.3 (4%向上) | 6.6 (5%向上) | 6.7 (6%向上) |
| | 灯油使用量の削減 | ℓ | 300 | 288 (4%削減) | 285 (5%削減) | 282 (6%削減) |
| 2 | 一般廃棄物排出量の削減 | kg | 6,565 | 6,302 (4%削減) | 6,237 (5%削減) | 6,171 (6%削減) |
| 3 | 産業廃棄物排出量の削減 | kg | 4,034 | 3,873 (4%削減) | 3,832 (5%削減) | 3,792 (6%削減) |
| 4 | 水使用量の削減 | m ³ | 621 | 596 (4%削減) | 590 (5%削減) | 584 (6%削減) |
| 5 | 環境に配慮した設計・製作の提案 | 件/年 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 6 | 環境整備 (工場廻りの大清掃) | 回数 | 年/4回 | 年/4回 | 年/4回 | 年/4回 |

* 化学物質使用量はないので目標計画はしない。

5.環境経営計画

環境経営方針・環境経営目標に沿って、次の通り環境経営計画を策定しました。

二酸化炭素排出量の削減計画

5-1.二酸化炭素排出量の削減

| 取組目標 | 活動項目 | |
|--------------|------|------------------------------------|
| (1) 電気使用量の削減 | 1 | ・エアコンの設定温度を冷房時24℃～26℃・暖房時25℃以下とする。 |
| | 2 | ・照明の適正管理（消し忘れ防止）昼休憩時の消灯 |
| | 3 | ・エコ関連機器の（省電力照明機器LED）全灯導入 |
| | 4 | ・機械・設備の空運転防止 |
| (2) 燃料使用量の削減 | 1 | ・車のハイブリットへの切替 |
| | 2 | ・車のエコ運転の実施 |
| | 3 | ・電気給湯器の効率使用 |

5-2.廃棄物の排出量削減

| 取組目標 | 活動項目 | |
|------------------|------|-----------------------------|
| (1) 一般の廃棄物排出量の削減 | 1 | ・事務系一般ゴミの削減 |
| | 2 | ・鋼材材料における歩留り発生の抑制 |
| | 3 | ・コピー用紙の使用量削減（裏紙再使用及び電子化の推進） |
| | 4 | ・缶・ビン・ペットボトルのリサイクル |

5-3.廃棄物の排出量削減

| | | |
|-----------------|---|-------------------|
| (1) 産業廃棄物排出量の削減 | 1 | ・生産工程見直しによる廃棄物の削減 |
| | 2 | ・廃油のリサイクル処理 |
| | 3 | ・再生不可能な金属くずの抑制 |

5-4.水使用量の削減

| 取組目標 | 活動項目 | |
|-------------|------|------------------|
| (1) 水使用量の削減 | 1 | ・洗面、トイレの水道水使用量削減 |
| | 2 | ・手洗・トイレを自動水栓への交換 |

5-5.環境に配慮した設計・製作

| 取組目標 | 活動項目 | |
|--------------|------|--|
| (1) 製品の設計・製作 | 1 | ・設計時に性能、互換性、改造について客先のニーズに対応し、コスト削減案を提示 |

5-6.環境整備

| 取組目標 | 活動項目 | |
|---------------|------|-------------------------|
| (1) 会社廻りの環境整備 | 1 | ・工場廻りの草木の伐採、清掃 |
| | 2 | ・機械周辺的安全策設置 |
| | 3 | ・安全対策の置場設置・機械周囲の開口部安全対策 |

6.環境経営目標の実績

6-1.環境経営取組結果

・令和6年4月～令和7年3月の運用期間の目標に於ける実績は以上の通りであった。

* 購入電力排出係数「0.628 (kgCO₂/kWh)」を使用

環境経営目標の達成評価

| 環境目標 | 単位 | 令和3年度 (基準年度) | 令和6年度目標 | 令和6年度実績 | 目標達成の 判定 | |
|-----------------|----------------------|-----------------|---------|---------|-------------|----|
| | | | | | 達成率 | 判定 |
| 二酸化炭素排出量の削減 | kg - CO ₂ | 117,969 | 112,071 | 93,139 | 120.3% | ○ |
| 電気使用量の削減 | kWh | 163,248 | 155,086 | 150,224 | 103.2% | ○ |
| ガソリン使用量の削減 | km/ℓ | 14.1 | 14.8 | 13.5 | 109.6% | ○ |
| 軽油使用量の削減 | km/ℓ | 6.3 | 6.6 | 6.6 | 100.0% | ○ |
| 灯油使用量の削減 | ℓ | 300 | 285 | 330 | 86.4% | △ |
| 一般廃棄物排出量の削減 | kg | 6,565 | 6,237 | 6,192 | 100.7% | ○ |
| 産業廃棄物排出量の削減 | kg | 4,034 | 3,832 | 3,050 | 125.6% | ○ |
| 水使用量の削減 | m ³ | 621 | 590 | 431 | 136.9% | ○ |
| 環境に配慮した設計・製作の提案 | 件/年 | 2 | 2 | 2 | | ○ |
| 環境整備 (工場廻りの大掃除) | 回数 | 4回/年 | 4 | 4 | | ○ |

(備考) 目標達成の判定 ○：実行されている (達成率≧100%)

△：大体実行されている (100% > 達成率≧80%)

×：目標大幅に未達 (80% > 達成率)

6-2. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

・削減目標を、155.086kWhとし、実績は150,224kWh/売上で目標を達成できました。

古い大型機械の入れ替えも終わり、今後は古い配線やコンセントの待機電力を削減できるように変更して行きたいと考えています。

夏季は熱中症対策の為各現場にスポットクーラー導入の為今後増える見込みである。

(2) 燃料の使用量削減

・社用車両入替の時はできるだけエコカーへの入替を行っている。

・使用量の少ない車は車検まで使用し廃止の予定です。

・灯油が増えている要因は、季節用品の暖房用ストーブを電気へ入替は終了したが、仕事量が増え製品のグリスや油を落とす為の、灯油の量が増えています。(廃油として処理しています)

・今後環境にやさしいものがないのか検討していきたいと思っています。

(3) 廃棄物の排出量削減

・一般廃棄物は、再生利用品(屑鉄、古紙)は廃棄保管場所を指定し再利用している。

・ペットボトル・ビン・缶などは、分別を行っている。

・今年度より電子帳簿に変更の為、徐々に紙の削減になっていく。

(4) 水使用量の削減

・一昨年トイレをエコタイプ交換した為削減できました。

・今後生産段階での水使用は皆無で、生活用水のみの使用のため、個々の節水意識に委ねている。

(5) 環境に配慮した設計・製作の提案

・新作が多かったため提案の採用はなかったが、素材の変更への提案をしていこうと思っている。

(6) 環境整備

・定期的に年間スケジュールを設定して繁忙期を避けて実施している。

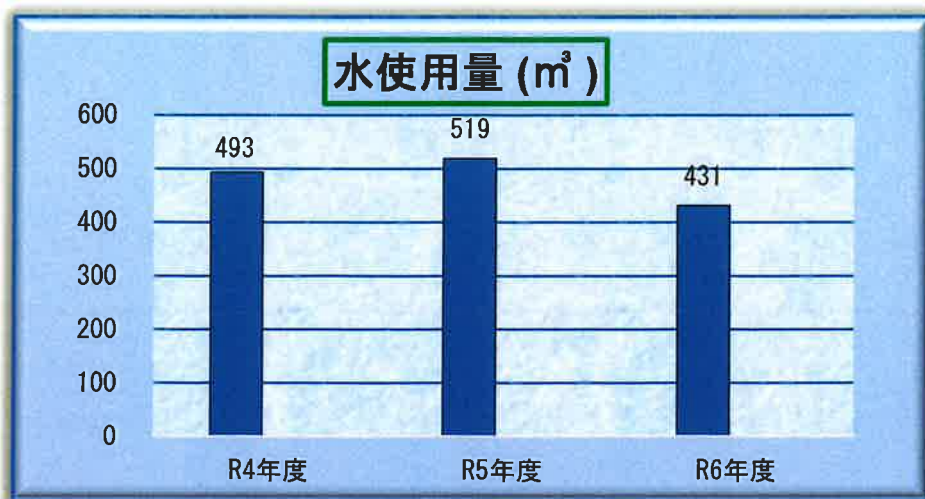
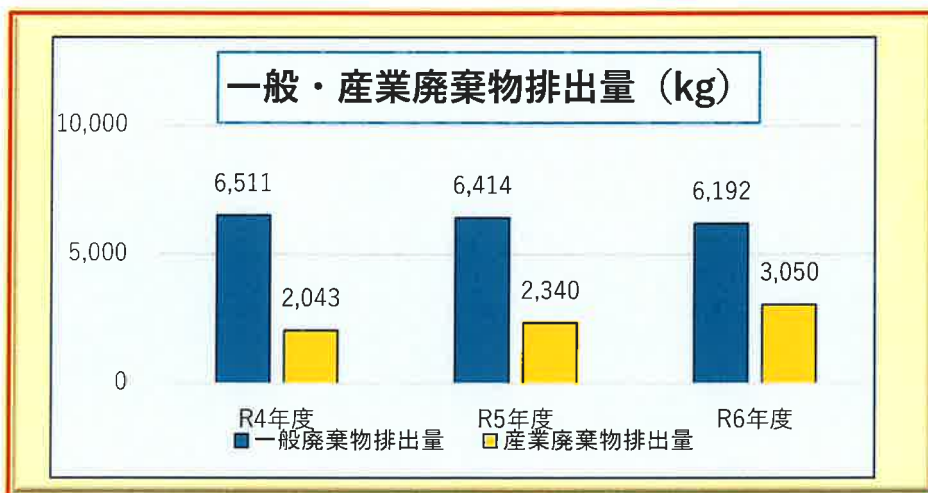
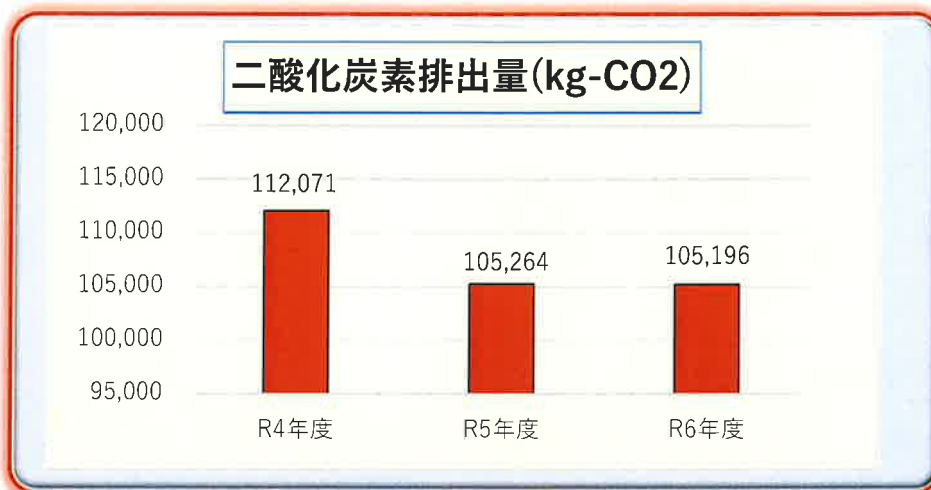
(週末には一斉清掃を行い工場及び事務所の環境整備を実施している)

・安全対策を行いました。

*化学物質使用量はないので環境経営目標の実績はありません。

6-3環境経営目標実績グラフ

| 種類 年度 | 二酸化炭素排出量 (kg-CO2) | 一般廃棄物排出量 (kg) | 産業廃棄物排出量 (kg) | 水使用量 (m ³) |
|----------|----------------------|------------------|------------------|---------------------------|
| R4年度 | 112,071 | 6,511 | 2,043 | 493 |
| R5年度 | 105,264 | 6,414 | 2,340 | 519 |
| R6年度 | 105,196 | 6,192 | 3,050 | 431 |



7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 (実績には二酸化炭素排出量を含む)、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

7-1.電力・水道使用量を削減するための取り組み

- ・一昨年に行ったトイレの改修工事のおかげで水道料が大幅に削減できました。



- ・業者によるクーラーの掃除を行いました。

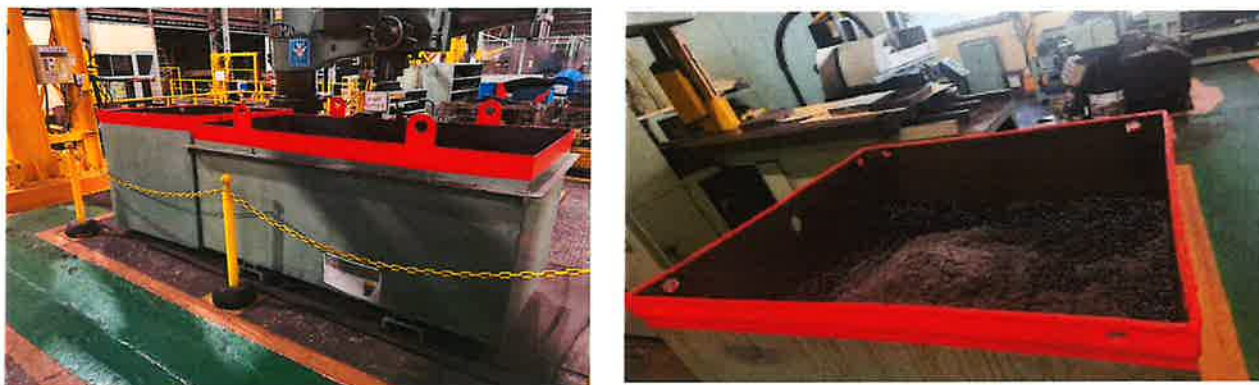


7-2.廃棄物排出量を削減するための取り組み

- ・ゴミ・リサイクル等、分別の置き場を色分けし異材の購入を防ぐ対策をしました。



- ・切粉回収ボックスに色付けをし異材の混入を防ぐ対策をしました。



7-3.書庫の書類をスキャンを取り古紙へリサイクルの取り組み



7-4.次年度の環境経営目標及び環境経営計画の内容

(1) 電力使用量を削減するための取り組み

- ・ 未使用配線の撤去及びブレーカーなどの電気部品の更新。
- ・ 機械操作用の手元照明機器など全てLED機器へ交換。
- ・ 古いエアコンを省エネタイプへ切替。

(2) 燃料使用量を削減するための取り組み

- ・ 車両入替時にエコカーの購入。
- ・ 引き続き昼休み等の電気消灯。

(3) 水道使用量を削減するための取り組み

- ・ 個人へ節水の呼びかけを行う。
- ・ 工場男子トイレの小便器洗浄装置を自動洗浄装置に交換。

(4) 廃棄物排出量削減のための取り組み

- ・ 消耗品、副資材の購入時、梱包の簡素化。
- ・ 種類別に分別している産廃物を極力リサイクル業社へ排出。
(スクラップ、紙、木材等)

(5) 受動喫煙法に関する社内における完全分煙化対策

- ・ 喫煙所の設置場所の案内表示。(自動喫煙を防止するため)

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

8-1.当事業所に適用される環境に関する法規について遵守状況評価の結果

違反等はありません。

【廃棄物に処理及び清掃に関する法律】・・・・・・・・・・ 順守事項を確認した。

【騒音・振動規制法】・・・・・・・・・・ 順守事項を確認した。

【消防法】・・・・・・・・・・ 順守事項を確認した。

【家電リサイクル法】・・・・・・・・・・ 順守事項を確認した。

【自動車リサイクル法】・・・・・・・・・・ 順守事項を確認した。

【70㍉排出抑制法】・・・・・・・・・・ 順守事項を確認した。

【受動喫煙防止法】・・・・・・・・・・ 順守事項を確認した。

8-2.関係当局（外部）からの指摘・指導・訴訟・苦情について

違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありません。

9.環境整備（会社周辺の清掃活動、環境美化、安全対策）

①樹木剪定状況



②NC加工機周囲に安全策設置



③安全対策として昇降ステップや踏台の置場設置、機械周囲の開口部安全対策



10.代表者による全体評価と見直しの指示

エコアクション21の実施状況の評価は次の通りです。

(1) 環境経営目標、環境経営方針に沿って環境経営計画は確実に運用され、問題や苦情等もなくシステムは機能している。

(2) 二酸化炭素排出量の削減と検討

- ・節電については、新型機械の導入による生産性の増大、及び冬場の暖房機器の電力化へ移行も終わり、今後環境にあった屋根のやり替えを行っていきたい。
- ・ガソリン車に関して徐々にハイブリット車に変更中であり、不要な車両の売却も行っています。
- ・熱中症防止の為、扇風機から、スポットクーラーへ変更や各部署への冷蔵庫の設置の為、今後の省エネの課題となりそうである。
- ・グリズや油を落とす灯油を環境にやさしいものへの移行を検討している。

(3) 産業廃棄物の削減については、今年も大幅に出来たため目標を達成する事が出来ました。

次年度も細かく分別し目標達成に頑張りたいと思います。

(4) 環境経営目標は、変更の必要はありません。

(5) 環境経営計画変更の必要性及び環境経営システム等変更は、特に必要はありません。

(6) 当社は創業以来、「ものづくり」中心の製造業を営んできて今期で創立78周年を迎えることとなりました。

企業運営として、「働きやすい環境職場」をスローガンに社員の職場での安全と健康について取り組んでおり、「健康宣言企業」、「健康経営優良法人」、「SDGs」、更新継続中です。

社の2025年度スローガンを目標に社員の健康支援と環境活動に取り組んでいきたいと思ひます。